

県と国の鉄軌道調査の比較表

**沖縄県
(2012年度)**

**内閣府
(2011年度)**

那覇空港→那覇
→沖縄→名護

対
象
ル
ー
ト

糸満→那覇→
沖縄→名護

約3万2千人～
4万3千人

需
要

約9万6千人

次世代型の
高速小型鉄道

想
定
シ
ス
テ
ム

普通鉄道

約5600億円
(整備延長約69km)

整
備
コ
ス
ト

約8500億円
(整備延長約77km)
(109億円/km)

特例的な制度の
適用をイメージ
(公設型の
上下分離方式)

整
備
制
度

既存制度の
適用をイメージ

- 運賃収入と運営費のみでは単年度黒字
- 車両の購入・保有を考慮しても4万人程度
の需要があれば単年度黒字化可能

採
算
性

- 開業40年後には累積赤字が
6000億円以上
- 毎年の赤字額は150億円